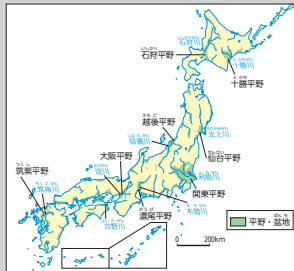


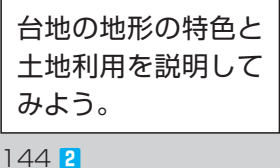
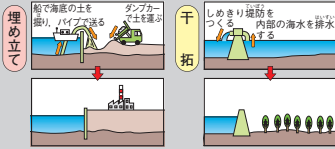
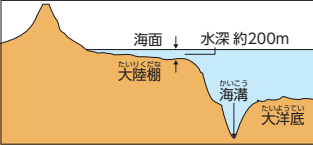
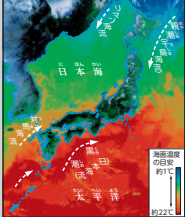
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.144-145 川がつくる地形と海岸や海洋の特色
2. 目標 (1) 日本は、周囲を海に囲まれて多様な海岸線が見られることや、日本近海の地形や海流の特色を理解できる。
(2) 川がつくるさまざまな地形の特色を理解し、どのような土地利用がなされているのか考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・日本を取り囲む海岸線の特色と、大陸棚と海溝の違いや暖流と寒流の違いを理解している。
思考・判断・表現	・平野や盆地のほか、扇状地や三角州、台地など川がつくる地形の特色を理解し、どのような土地利用がなされているのか考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)																														
導入	1. 川がつくるさまざまな地形の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 日本の河川や平地の特色を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.144 1  p.144 2  p.144 4  p.144 5 それぞれの地形は、どのような場所で見られるのか、図で説明してみよう。 日本の河川や平地にはどのような特色があるのか、予想してみよう。	○ 川がつくるさまざまな地形の写真を題材にし、それらの地形がどのような場所で見られるかを確認しながら、本時への導入を図る。 ○ 模式図を参考に、日本の河川や平地の特色を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。																														
	学習課題：日本の平野や海岸、日本を取り巻く海には、どのような特色があるのだろうか。																																
展開	3. 日本の主な河川の名称と長さを調べ、日本の河川の特色を考える。	 p.144 3  地図帳 p.165 ③ <table><thead><tr><th></th><th>河川名</th><th>長さ</th><th></th><th>河川名</th><th>長さ</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>石狩川</td><td>268 km</td><td>⑤</td><td>木曽川</td><td>229 km</td></tr><tr><td>②</td><td>北上川</td><td>249 km</td><td>⑥</td><td>吉野川</td><td>194 km</td></tr><tr><td>③</td><td>利根川</td><td>322 km</td><td>⑦</td><td>淀川</td><td>75 km</td></tr><tr><td>④</td><td>信濃川</td><td>367 km</td><td>⑧</td><td>筑後川</td><td>143 km</td></tr></tbody></table> 日本の主な河川の名前と長さを調べてみよう。 日本の河川は、どのような特色があるのだろうか。		河川名	長さ		河川名	長さ	①	石狩川	268 km	⑤	木曽川	229 km	②	北上川	249 km	⑥	吉野川	194 km	③	利根川	322 km	⑦	淀川	75 km	④	信濃川	367 km	⑧	筑後川	143 km	○ 学習プリントを活用し、地図帳の統計資料から日本の主な河川の名称と長さを調べ、まとめさせる。 ◆ 日本の河川は、短く急流であることに気付かせる。
		河川名	長さ		河川名	長さ																											
①	石狩川	268 km	⑤	木曽川	229 km																												
②	北上川	249 km	⑥	吉野川	194 km																												
③	利根川	322 km	⑦	淀川	75 km																												
④	信濃川	367 km	⑧	筑後川	143 km																												

展 開	4. 川がつくるさまざまな地形の成り立ちや土地利用を考え、地形の特色を理解する。 (1) 扇状地 (2) 三角州 (3) 台地 5. 日本の海岸の特色を理解する。 (1) リアス海岸 (2) 人工海岸 6. 日本を取り巻く海の特徴を理解する。 (1) 大陸棚と海溝 (2) 海流	 p.144 1  扇状地  p.144 4  三角州  p.144 2  台地  p.145 6  リアス海岸  干拓と埋め立ての違いを説明してみよう。 「干拓と埋め立て」  p.145 8  p.145 9	○ 扇状地と三角州の地形の特色を考えさせる。 ◆ 扇状地は、川が山間部から平地に出た所に見られ、水はけがよいので果樹園などに利用されてきたことと、三角州は河口部に見られ、水が地下にしみこみにくいので水田に利用されてきたことを理解させる。 ○ 台地の特色を考えさせる。 ◆ 台地は水を得にくいので、畑や茶畑などに利用されてきたことを理解させる。 ○ リアス海岸が見られる地域を調べさせ、リアス海岸の特色をまとめさせる。 ◆ 干拓は、築いた堤防の内側の水を排水して陸地を造り、埋め立ては川や海に土砂などを埋め、陸地に行っていることを理解させる。 ○ 二つの図を活用し、日本近海の海底の様子と海流の特色をつかませる。 ◆ 大陸棚は大陸の周辺にみられるなだらかな海底で、日本海側と太平洋側にも広がっているが、水深が8000mを超える海溝は太平洋側のみ見られることを理解させる。
整 理	7. 本時のまとめをする。 8. 学習課題への振り返りの活動を行う。	日本近海の様子を、「大陸棚」、「黒潮」、「親潮」の語句を使って説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 日本近海の様子について、南から黒潮、北から親潮が流れ、それぞれがぶつかる大陸棚付近は優れた漁場になっていることなど説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。